

# 再 醸造用ブドウ品種・系統の選抜 (R2年～)

# 新 山梨県のフラッグシップとなる欧州系醸造用品種の選抜 ～果実特性の解明～ (R2～4年) (重点化課題候補)

## 背景とねらい

「メルロ」、「カベルネ・ソーヴィニヨン」、「シャルドネ」などの主要品種の果実・ワイン特性を解明 (H30年度成果情報)

しかし、  
成熟期が高温となる本県の気象環境では、  
地域によっては高品質かつ特色あるワイン  
生産が難しい。

成熟期が暑くても着色が良い品種はあるのかな？



どんな品種だと、  
山梨県で特色ある  
ワインになる  
かな？



世界的に認知され、比較的温暖な  
地域で栽培されている品種について、  
本県における栽培特性および  
果実特性を解明

## 試験内容

### 【検討品種】

<白ワイン用>

アルバリーニョ(○)

プティ・マンサン(☆)

<赤ワイン用>

シラー(2系統)(☆△)

テンプラニーリョ(○)

ムールヴェードル(☆)

タナ(☆)

(主な生産地)

☆フランス(南部)、○スペイン

△オーストラリア

### 【対照品種】

シャルドネ

カベルネ・ソーヴィニヨン

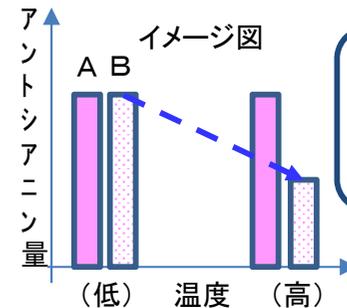
プティ・ヴェルド

## (1) 品種別の栽培・果実特性の解明 (R2～4)

- ・場内圃場(標高440m)における栽培・果実特性の検討  
栽培特性;生育ステージ、収量、病害虫発生程度など  
果実特性;果房重、糖度、酸含量、アントシアニン量など

## (2) 品種別の温度適応性の解明 (R2～4)

- ・将来的な温暖化を見据えた、高温条件下での着色程度(アントシアニン量)や酸含量の検討
- ・myb遺伝子型とアントシアニン量や組成との関連性の検討



温暖化を見据えた  
将来的な着色を考  
えると、A品種がお  
勧めです



## (3) 地域適応性の解明 (R3～4)

- ・明野試験地(標高710m)や現地ワイナリーの圃場における栽培・果実特性(香り成分やタンニンの違いなど)の検討

※ワイン品質については、R5年以降に課題化予定

## 期待される効果

ワインメーカーなどが品種導入する際の参考資料

新たなフラッグシップとなる欧州系品種の選抜

欧州系醸造用品種の生産量増加

県産ワインのブランド力強化